

8月6日(月)

大学都市「オックスフォード」を訪問

初めてのホストファミリーとの週末を過ごし、生徒たちは皆笑顔で登校してきました。バーベキューをしたり、近くにある湖で泳いだり、船や汽車を乗ったり、ウェールズで城巡りをしたり、買い物に行ったり、楽しい時間を過ごした様子でした。

午前中、1時間目の授業では午後に訪問するオックスフォード大学について勉強しました。2時間目には、スピーチの授業を行いました。先週のフィールドワークで取材した情報をまとめたり、研修校のパソコンを利用して、インターネットでの情報収集も行ったりました。

午後は、教室を離れて、オックスフォードを訪問しました。言わずと知れた、世界へ著名人を送り出している「オックスフォード大学」のある町です。オックスフォードの人口は約15万人、そのうち学生数は約1万8千人です。また、不思議の国のアリスや、指輪物語、ナルニア物語などの作家がアイデアを育んだ街でもあります。38校のカレッジと6つの宗教大学の計44校があり、この集合体をOxford Universityと呼びます。オックスフォード大学という校舎があるわけではなく、学生はそれぞれのカレッジに所属しながら、他のカレッジの講義に登録して授業を受けています。

オックスフォードに到着後、2名のオックスフォード大学の学生が合流し、2つグル

ープに分かれて、キャンパス内の名所を回りました。まず案内してくれたのは「不思議の国のアリス」の作者、ルイス・キャロルが数学の講師をしていた「クライストチャーチカレッジ」です。オックスフォード大学の中で最も美しいといわれるこのカレッジは、広大な敷地を持ち、牧草地やラグビー場、ボートハウスやリバー、生徒の寮から大聖堂まで、まるで小さな村の中にいるような錯覚にとられるほどです。その中でも特に有名な映画ハリーポッターの撮影でも使われた「ダイニングホール」(このホールを目当てに異国から多くの人が集まります)に入り、写真をたくさん撮りました。生徒たちはハリーポッターのシーンがすぐに思い浮かぶようで、興味深そうに見学していました。更にホールのステンドグラスの隠れている不思議の国のアリスのキャラクターたちを見つけたり、興味深そうに見学していました。



次に、オックスフォードの最古のカレッジと言われている「Merton College」の外観を見学しながら、Danielさんが自分のカレッジやカレッジの成り立ちについて説明してくれました。各カレッジの敷地内には、学生のために、図書館、ダイニングホール、礼拝堂、そして生徒たちが生活する寮が完備されています。また、それぞれのカレッジ

の広さが異なりますが、必ず「Quad」(クオド、中庭のこと)があります。カレッジ内にはWiFiが飛んでいるので、天気の良い日は外で勉強している学生達が多いようです。次は「Examination Halls」と言う全カレッジの試験が行われる建物の前を通りました。普段の試験の時は正装で試験を受けるそうですが、卒業試験の最終日は一番安い服を着て来ます。その理由は、試験を終えた学生たちを祝うため、建物の外では多くの友人たちがシャンペンや生卵、シェービングスプレーなどを持ち寄って、次々にかけてくるからだそうです。その後近くの川に飛び込むのもお馴染みの儀式です。その他にも、国内で2番目に大きい「ボードリアン・ライブラリー(図書館)」、読書室である「ラドクリフカメラ」、卒業式や大学内のイベントが行われる「シェルドニアンシアター」、大学の教会「セント・メアリー」などを見学しました。町の至る所にカレッジが点在しており、どの校舎も石造りの立派な建物でした。オックスフォード大学生達の生活を垣間見られたようでした。

